

目次
CONTENTS

2 特集
匠の技 紀州へら竿

- 10 情報ワイド
- ▶入札参加資格審査
 - ▶市政功労者表彰・文化表彰
 - ▶年末年始の業務案内
 - ▶SDGs など

17 情報ひろば

24 タウン情報

25 子育てぱーく

26 本のひろば

27 健康カレンダー

28 フォトトピックス

今月の表紙



紀伊清水駅駅舎内にある紀州へら竿の後継者育成施設「匠工房」で製作体験を行う様子。

特集

受け継がれる匠の技
紀州へら竿

本市の地場産業「紀州へら竿」は、百年以上の歴史を積み上げ、現在に至っています。

本市はその一大産地として発展してきました。紀州へら竿は国内だけでなく海外でもその製作技術や芸術性の高さが認められており、海外の釣り人からも手に入りたい逸品として注目されています。一方で、竿師の高齢化や後継者不足などの課題も抱えています。

来年、紀州へら竿が誕生して140周年を迎えます。時代の移り変わりとともに科学が進歩しても、なお輝き続ける「匠の技」。職人たちが誇りを持ち、師から弟子へと伝承することと多くの人を魅了し続けてきた「紀州へら竿」の魅力に迫ります。

へらブナ釣りの聖地 隠れ谷池

昭和40年に紀州製竿組合により試験研究池として開設され、当初は竿師が自身の製作した竿の出来を確かめたり、研究を行ったりするために利用していました。

現在は一般の皆さんにも開放され、休日だけでなく平日も多くの釣り好きが集まっています。

へらブナ釣りをする人にとっては、竿師に会える釣り場として「へらブナ釣りの聖地」ともいわれています。

地元の学校をはじめ、近隣市町の学生などもへらブナ釣りの体験授業が行われるなど、幅広い世代の皆さんが訪れます。